

「産業廃棄物の3R戦略プラン」に係る
パブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

項目	意見の要旨	府の考え方
産業廃棄物税について(p1)	<p>○産業廃棄物税のように、最終処分場への搬入量に応じて税を徴収する方法は、排出事業者にとって処分量を少しでも減らそうといったインセンティブが働くため、これまでから効果が認められているところであり、是非、今後も続けてほしい</p>	<p>□ご意見ありがとうございます。税金を有効に活用し、循環型社会の形成に向けた取組を更に進めていきたいと考えます。</p>
I o Tを活用した循環資源管理システムについて(p9)	<p>○「I Cタグやバーコードを活用した循環資源管理システムを導入し」とあるが、これらのシステムは十分な普及が図られている段階ではなく、調査研究段階ではないのか。</p> <p>先日、「廃棄物処理・リサイクルI o T導入促進協議会」が発足した。同協議会では、今後、ビジネスの具体化やファイジビリティ調査・社会実装などを推進していくとされたところ。</p>	<p>□事業所内の廃棄物の管理システムについては、既に実用化され、ゼロエミッションの取組を進めるツールとして認識されているところであり、そのシステムを購入して、分別・リサイクルを進める事業所に対する補助を検討しております。</p> <p>なお、後段に記載のゼロエミッションに向かう取組については、ご指摘のとおりであり、今後、導入エリアの選定も含め、3Rモデル開発事業の中で事業実施に向けて検討を進めていきたいと考えております。</p>
産学公の連携について(p10)	<p>○I o T、I Cタグの実用化等、各種研究開発には、産業界や公的機関だけでなく、大学を取り込むことが重要と思われる。大学生を対象として人材育成を図るだけではなく、研究機関としての大学との産学公連携の体制が必要ではないか。</p>	<p>□ご意見ありがとうございます。本府としても、大学の位置づけは大きく、共同で事業を進めることが肝要と考えており、大学・企業・京都府が連携しながら進めることを記載させて頂いているところで</p>

<p>大学生を参加対象とした見学ツアーの実施について (p11)</p>	<p>○普段馴染みのない産業廃棄物について、大学生が、3Rの取り組みを学ぶことは重要であり、就職を控えた彼らにとって、大変有意義であると思います。</p>	<p>□ご意見ありがとうございます。既に、ベンチャー事業で試行実施し、本府としても大学生を対象とした3R教育の場の創出を進めていくことは大変有意義であると考えております。着実に事業を実施していきたいと考えております。</p>
--	---	--